

吉田 敏一 様

LOY1410A38-348995-2



01243044#

012430445



支援者番号：348995

## 感染拡大が続くエボラ出血熱—— 今すぐ国際社会の援助が必要なのです



©PK, ICF/MSF

シエラレオネのエボラ専門治療施設で、患者の受け入れ状況を  
確認する日本人看護師(右)と医師。

吉田 敏一 様

国境なき医師団 (MSF) の活動に日頃よりご関心をお寄せくださりまして、誠にありがとうございます。

3月中旬から西アフリカのギニアで始まったエボラ出血熱の流行は、前例のない規模で拡大しました。

7月に、MSF日本はエボラ緊急援助活動のための寄付を皆様にお願ひし、当初目標としていた5000万円を大きく上回る1億5000万円のご支援をいただくことができました。あらためて心からの感謝を申し上げます。その後、緊急に必要な活動資金の用途がすいたため、使途をエボラ関連活動に指定した寄付の受付は一旦終了いたしました。しかし、エボラ出血熱の流行拡大はその後も止まらず、MSFの活動費は膨らみ続けています。各国も流行地域での対策によりやく乗り出していますが、今なお専門治療施設が足らず、エボラ患者の受け入れが進みません。MSFはすでに対応能力の限界まで力を尽くしていますが、喫緊の課題としているエボラ専門治療施設の増設など、2015年まで継続援助活動が想定され、その結果、1億1500万ユーロ(約157億円)の資金調達が必要なことが判明し、MSF日本からは先の1億5000万円に加え、新たに3億5000万円の資金提供を2014年内に行うことを目標に、再び皆様にご支援のお願ひをさせていただくこととなりました。エボラの流行拡大を押しとどめるには、感染の確認された人と疑われる人を確実に隔離し、適切な対症療法や検査を行い、地域社会で病氣と予防への理解促進を行いなから、感染者と接触した可能性のある人を特定するはかありません。こうした活動を可能にするのは、皆様からのご支援なのです。

同封の、モンロビアのエボラ専門治療施設で活動中のリベリア人スタッフ、ナイヤさんからの手紙を一読いただければと存じます。エボラ感染拡大が進む地域で治療を必要とする人びとや、最前線で患者や感染者を救おうと力を尽くしているスタッフをサポートするために、今すぐ、国境なき医師団のエボラ出血熱緊急援助へのご支援をお願いいたします。

2014年11月

特定非営利活動法人  
国境なき医師団日本  
事務局長

ジェレミイ・ポダン



※ 日頃よりご支援いただいている皆様には重ねてのお願いとなりますこととお許しください。また、寄付の変更、郵送物の変更などございました方に行き違いでのご案内が届きました場合は、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

**国境なき医師団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。**

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3F

寄付のお申し込み・お問い合わせは、**通話料無料 0120-999-199** (9:00~19:00/無休)

## 日本の支援者の皆様へ

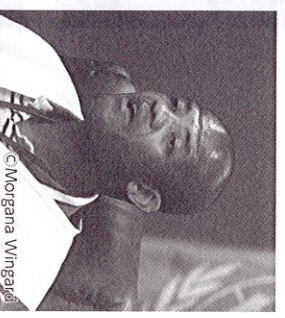
私は現在、リベリアの首都モンロビアにあるMSFのエボラ専門治療施設でチームリーダーを務めています。エボラ流行は拡大し、犠牲者が増え続け、私の親戚や、友人、同僚も相次いで命を落としました。私には医学の心得があり、祖国を助ける責任があると感じました。

MSFが直面している闘いについて話をさせてください。多くの死を見てきました。患者さんたちは独りで恐怖におびえながら、家族にも付き添われなまま亡くなっています。私たちはできるだけ多くの人を治療しようと努めています。治療施設の数も病床も足りません。施設前に並んで待っている人びとに帰ってもらわなければならないのです。

ある日、一週間前にお父さんをエボラで亡くしたという男の子がエボラ専門治療施設にやってきました。男の子の口は出血で赤く染まっていますが、施設は満床で受け入れることはできず、男の子は町に戻って行きました。家族がエボラに感染してしまうかも知れない、と思いましたが、どうすることもできませんでした。

世界は、エボラを今すぐ抑え込む必要があります。それには、各国の協力が必要です。感染したすべての人が入院して治療を受けられるよう、自宅にとどまって家族に感染させる危険を冒さなくてはなりません。エボラ専門治療施設の増設が急務です。また、正しい対処法を身に着けた医療スタッフを増やし、治療施設の安定した運営につなげる努力も必要です。学校や大学、行政機関までも閉鎖され、エボラは生活そのものを直撃しているのです。この大惨事を食い止めるために、どうぞ今すぐご支援をお願いいたします。

国境なき医師団  
エボラ専門治療施設 (リベリア)  
チームリーダー  
ジヤフソフ・ナイマ



©Morgana Wingard

**エボラ緊急援助への寄付は、こちらの振込用紙をご利用ください**

電話 ※ およびホームページでも受け付けています。

通話料無料

0120-999-199 (9:00~19:00 無休)

ホームページ

[www.msf.or.jp](http://www.msf.or.jp)